

平成 29 年 3 月 (第 12 回) 理事会概要

会議に先立ち、修了証の伝達があった。

- ・ウッドバッジ実修所ボーイスカウト課程修了 間中 健治(鎌ヶ谷 1) ・団委員実修所修了 鈴木 恭司(流山 3)
- ・副リーダーートレーナーコース修了 酒井 慎一(松戸 8)、浅岡 実(松戸 2)、光延 健秀(松戸 2)

I. 審議事項(承認事項)

1. 2 月企画会議後スカウト章認証について

1) スカウト章認証(2 月企画会議後)

- ・菊 章:木谷 実里(千葉 18) <承認>
- ・隼 章:飯塚 妙(柏 1)、瀧平 士夫(柏 9) <承認>
- ・富士章:なし

2) スカウト章承認紹介(2 月企画会議で承認分)

- ・菊 章:中台 洋亮(習志野 1)、加藤 健(習志野 1)、清水 颯馬(鎌ヶ谷 1)、間中 音景(鎌ヶ谷 1)、田口 未悠(市原 3)
- ・宗教章取得者:なし

2. 第 20 回千葉県カブラー準備委員会委員の推薦について

- ・施設資材部:高橋 忠雄(千葉 15)、安全管理部:南 正晃(四街道 1)の推薦があり承認された。

3. 第 20 回千葉県カブラー予算(案)について

- ・収入予算:県連盟補助金(H28 年分+H29 年分)1,000,000 円、徴収参加費@1,300×1,700 人=2,210,000 円、その他(寄付など)20,000 円で合計 3,230,000 円。
- ・未定部分あるが、上記枠内で計画をしていくことで 4 月理事会に最終予算書を提示する。

4. 第 20 回千葉県カブラーシンボルマークの募集について

- ・応募条件:応募用紙に図案のみ記載する。(文字は委員会で記載。)
- ・応募先:野中準備委員会委員長宛 ・応募締切:4 月 21 日(金)

5. 第 20 回千葉県カブラー実行委員会委員の推薦依頼

- ・各地区より実行委員会委員に 1 人の推薦依頼 ・締切:3 月 24 日(金)

6. 千葉県連盟トレーニングチーム副ディレクターの推薦について

- ・小川 信一LT(船橋 3)、尾崎 陽二ALT(松戸 5)が承認された。

任期:平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

II. 報告事項

1. 平成 29 年 2 月末登録状況

- ・29/2 末 6,572 人/109 団 前年同月比 -426 人、前年度末比 -426 人
- ・平成 28 年度の追加登録は、スカウト全員では 318 人(BVS・CSで 297 人)で昨年度は 268 人(BVS・CSで 257 人)に比べ増加傾向であった。

2. 各種委員会報告

1) スカウト拡充委員会

(1)平成 28 年度スカウト募集事業実施報告書、及び各種アンケートについての報告書 第1版

- ・調査報告書分析「団の再生、発展に向けての提言」
 - ア. スカウト増員について団委員会、団会議、育成会などで全員の共通の課題として話し合いが必要。
 - イ. 地区関係者の方々に団の現状、再生に向けての協議状況など率直に説明し協力・支援を仰ぐ。
 - ウ. 入隊まで複数回活動に参加されている方が大半であり、複数回のプログラム企画が必要。
 - エ. ボーイスカウトならではの野外活動・自然体験を多くの方が期待している。
 - オ. 団の実力にあった展開で十分で、肝心なのはプログラムの質になる。
 - カ. 市・市教育委員の後援の取得に全力をあげて取り組む。学校・学級へのチラシ配布が効果大。

2) スカウト育成委員会

(1)ボーイスカウト救急法講習会講師指導員の勉強会報告

- ・2 月 11 日 青少年女性会館 ・参加者:21 人(指導員 14 人、スカウト育成委員 7 人)
- ・講師、指導員で動ける人が少なく、指導内容が各個人に差が見られ、是非参加して欲しい。

(2)千葉県連盟顕彰会、千葉県知事顕彰会について

- ・3 月 24 日(金)に開催予定。10:00～青少年女性会館にて千葉県連盟顕彰会、昼食後 千葉県庁へ

移動する。

(3)スカウト活動発表会

- ・3月26日(日) 青少年女性会館大ホール ・参加対象者:BS・VS・RSスカウト、指導者、保護者
- ・活動発表とポスター発表 *参加申込締切日:3月19日(各地区スカウト育成委員長まで)

(4)県連盟進級調査結果(平成29年2月26日)

- ・県連盟スカウト数3,038人の各学年別の進歩進級の状況が報告された。
- ・進級しないスカウト数も多く昨年初期登録から年度末までに545人が中途退団。
- ・カブの完修率は各学年40%台で、平均44%。中途退団者も90人。
- ・ボーイの初級から2級への進級が遅く、中1で55%、中2で31%の初級がいる。
- ・ベンチャー(高1～高3)はVSバッジが43%、VS章が43%で隼章は1%

③指導者養成委員会

(1)平成29年度春期ウッドバッジ研修所所員・開設担予定者

- ・スカウトコース千葉第1期:H29.5.4～7、野田市あおぞら広場
所長:増田秀夫LT 主任:澤田一成ALT 開設担当:益子 正
所員:太田大州ALT、高橋雅彦TS、田中 斉TS、菊地隆一TS、相田 剛TS、海老坪聡TS、
小西章夫TS、浅岡 実TS、酒井慎一TS、中村ちひろTS、児玉春美ALT
- ・スカウトコース千葉第2期:H29.5.4～7、香取神宮
所長:長橋佑之LT 主任:尾崎陽二ALT 開設担当:南 正晃
所員:越森 誠ALT、三塚 学TS、福住雅裕ALT、光延健秀TS、遠藤泰裕TS、鈴木亮仁TS、
大作 寛TS、宇山則幸TS、若生義行TS、栗林裕子TS、山下すみ江LT

3. 県連盟コミッショナー報告

1)平成28年度全国スカウトフォーラム報告会について

- ・平成29年1月29日 13:30～16:00 青少年女性会館 ・ベンチャースカウト20人、県連盟コミッショナーグループ6人、地区コミッショナー・隊指導者29人 合計55人参加
- ・報告者:第21回全国スカウトフォーラム千葉県連盟代表スカウト 八千代第4団 鈴木 真三VS
- ・採択文:減災について私たちができることから取り組み、地域社会へ貢献できる知識・技能を持ったベンチャースカウトになる。

◇千葉県連盟スカウトフォーラムの確認

- ・採択:二次災害を減らすために、「減災ハンドブック」を作る。

◇今後の活動

- (1)アフターフォーラムの取り組み:全国スカウトフォーラムの報告を受け、千葉県連盟スカウトフォーラムの採択と地区アクションプラン推進の計画を立て、隊で活動することで一人ひとりのスカウトへフィードバックし平成30年3月に完了する。
- (2)スカウト活動発表会での報告:アフターフォーラムの取り組み状況を平成29年度開催のスカウト活動発表会で発表する。(平成29年8月27日)

4. その他

(1)平成28年度千葉県連盟団委員長集会報告

- ・2月26日(日) 10～16時 船橋市勤労市民センター ・参加者:団委員長・副団委員長・団委員 11地区 71人、地区正副コミッショナー 10人、団担当コミッショナー 7人、県連盟コミッショナーグループ 5人、地区代表理事 3人、副連盟長・正副理事長・業務執行理事・事務局長 5人、船橋地区より奉仕 5人 合計106人
- ・団委員長や団委員の立場から、セーフ・フロム・ハームを基盤にして班制教育を実現していくことが団内スカウト活動の活性化を実現し、真の楽しさをスカウト達に提供できることに繋がる。団はスカウト教育を実施する最大の組織であることを再認識して、あきらめないで活動して行こうと締めくくって終えた。

以上